

平成29年11月7日

保護者様

岡山大学教育学部附属中学校
校長 川田 力

北朝鮮によるミサイル発射時におけるJアラートによる
緊急情報が発信された場合の対応について

平素から本校教育の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき感謝しております。

さて、先日北朝鮮による弾道ミサイルの発射があり、広い範囲でJアラートによる緊急情報が発信されました。そこで、今後岡山県を含むエリアにJアラートによる緊急情報が発信された場合、本校におきましては、生徒の安全を確保するために、下記のとおり対応することとしますのでお知らせします。

なお、裏面「弾道ミサイル落下の行動について」（国民保護ポータルサイト）等をご覧いただき、各ご家庭におかれましても緊急時の対応についてお話くださいますようお願いいたします。

記

1 登校前は

- ・ 登校前に発信された場合は登校を控え、自宅等、建物の中で待機して安全を確保します。
- ・ また、家庭においては、テレビ等で情報の収集に努めてください。
- ・ その後、報道等により安全が確認されましたら登校を始めてください。安全に気をつけてあわてず登校するよう、各家庭でご指導ください。
- ・ 安全が確認できない場合は、自宅等、建物の中で待機を続け、情報収集に努めてください。

2 登下校中は

- ・ 建物の中に避難します。近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、かばん等で頭部を守ります。
- ・ 公共交通機関を利用中に緊急情報が配信された場合は、交通機関（乗務員）の指示に従い、冷静に行動します。

3 学校にいるときは

- ・ 校舎内にいる場合は、その場所へとどまります。校舎外にいる場合は、速やかに校舎等の中に避難します。
- ・ 校舎内では、ガラスの飛散から身を守るためにカーテンを閉めたり窓から離れたりした上で、机の下にもぐるなどして頭部を守ります。
- ・ 報道等により十分な安全が確認できた後、教育活動を再開します。

<ご注意いただきたい点>

① 上記におきます「安全確認」とは、Jアラートによる緊急情報が次のもので、避難・安全確保が不要とされる場合を指します。

ア 「ミサイルが日本上空を通過した」

イ 「ミサイルが日本の領海外に落下した」

② 「ミサイルが日本の領土・領海に落下した可能性がある／落下した」というJアラートによる緊急情報の場合は、岡山県への影響の有無に関わらず、避難・安全確保を継続してください。岡山大学が安全を確認しますので、大学の指示に従って本校からHP・メール等により対応をお知らせします。

※ Jアラートによる緊急情報の発信があった場合、緊急時の連絡のため、学校の電話回線を空けておく必要があります。学校への問合せ電話は、できる限り控えていただきますようお願いいたします。



弾道ミサイル 落下時の行動

国民保護
ポータルサイト



ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、国は「Jアラート」を活用して防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メール等による情報提供を行います。

Jアラート



【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

もしメッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動して下さい。

屋外に
いる場合

近くの建物の中や地下に 避難する。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、 地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、 窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

政府の最新情報は
こちらをチェック



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
[@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)